

- ・エストニア
- ・ラトビア
- ・リトアニア
- ・サンクス・ペテルブルグ (ロシア)
- ・ヘルシンキ (フィンランド)

バルト三国とサンクト・ペテルブルグ



◇バルト三国とサンクト・ペテルブルグ概観◇

(03/8/17 ~ /27)

発端 この年は、アメリカのブッシュのイラク侵攻によるテロへの恐怖の増加に加え、中国に端を発したザーズが重なって、海外旅行は散々な状況だった。ツアーは不成立や中止が相次ぎ、行く先は極めて限られたものとなった。そんな中でこのコースは、最も知らない地域の一つという意味で魅力があった。

コースは、フィンランド航空でヘルシンキに飛び、先ずバルト三国を回り、一端ヘルシンキに戻ってから空路サンクト・ペテルブルグに向かった。日程は前の4日間がバルト三国、ヘルシンキが到着時と合わせてほぼ1日、サンクト・ペテルブルグが4泊5日だった。

バルト三国はそれぞれ日本の北海道以下の面積に、150万から400万の人々が住んでいるが、人口は首都に集中していて、リトアニアを除いて他に目立つ都市はない。今回われわれも、各国の首都を中心に回った。この旅は、纏めが難しく些か散漫なものになった。

タリン (エストニア)

タリンはエストニアの首都、中心部の旧市街は世界遺産になっている。海岸方向は新市街の開発が盛んで、対照をなしている。歌の原の大きさには驚かされた。

リガ (ラトビア)

中心部は旧市街であるが、全体には80万を超す人口を持つバルト一の大都市で、他よりも活気が感じられた。場所は新市街に属するが、アール・ヌーボーの建物が並ぶ一角が特に印象に残った。

カウナス (リトアニア)

一時期のリトアニアの首都であり、落ち着いた佇まいの都市。杉原領事代理のピサ発行で有名な旧日本領事館は、現在はその一部が杉原記念館になっていて、当時を忍ぶことができた。

十字架の丘 (シャウレイ近郊) 丘というには

小さい小高い地に夥しい数の十字架が立てられている。ソ連に何度も潰されたが、その度に前に勝る数が建てられて、今日に至っているようだ。

ヴィリニュス・トラカイ (リトアニア)

現リトアニアの首都。教会の多い、穏やかな佇まいの都市である。

ヘルシンキ (フィンランド)

元々観光の予定はなかったが、予定の変更で時間ができた。前回同様、路面電車が活躍していた。

サンクト・ペテルブルグ (ロシア)

エルミタージュ美術館 世界三大美術館の一つ。所蔵美術品も膨大で多岐に渡るそうだが、何しろ建物そのものが大した美術品である。一日駆け足で一部を見たに過ぎないが、まさに絢爛豪華であった。

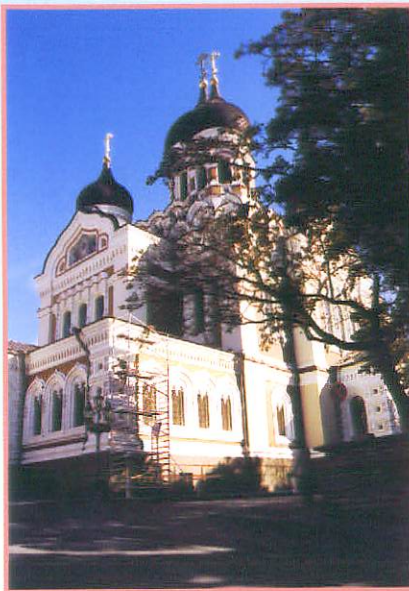
エカテリーナ宮殿 時間的なこともあって、庭園は殆ど回らず、建物内の見学が主となった。何といっても三百周年に間に合わせて修復された琥珀の間が圧巻。それにしても、一介のドイツ娘から女王に上り詰めたエカテリーナⅡ世てのは凄い女だね、という感じ。

その他 夏の宮殿 水中翼船で海を通り、運河の入り口につく。以前は宮殿内まで船が乗り入れていたようだ。ネプチューンの大噴水、童心に富んだ悪戯の噴水群など、海が十二分に意識されている。

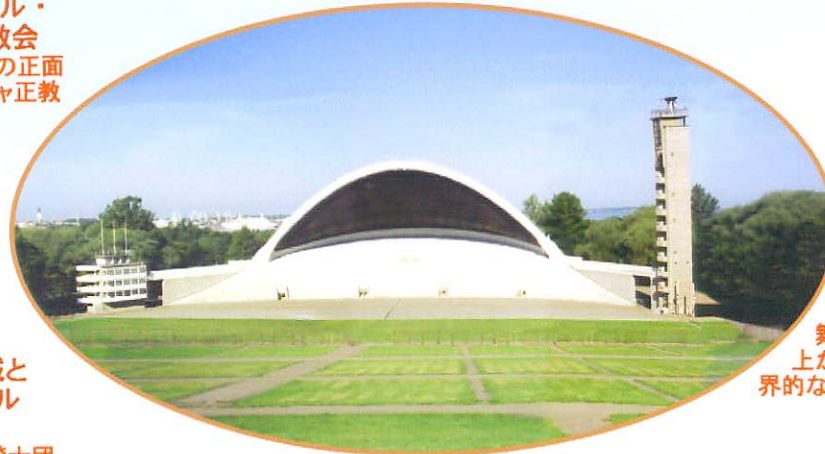
血の上の教会 アレキサンドルⅡ世が暗殺された場所に建てられたという教会。不思議な色合いの外観が目を引く。

イサク寺院 重厚、中に建築の仕方の模型もある。
・全般に教会の中がイタリアなどとはかなり雰囲気
が異なり、特に柱などに描かれた絵画が多く面白
かった。
(文・写真整理 片山守)

タリン(エストニア)



◀アレキサンドル・ネフスキー教会
エストニア議会の正面にある。ギリシャ正教の教会。



◀歌の原
舞台だけで2万3千人が
上げれる。5年に一度、世
界的な大音楽祭が開かれる。



▶ルサルカ像
ロシアとの独
立戦争に由
来する。海
岸に立つ。



▼トームペア城と
のっぽのヘル
マン塔
13世紀からの騎士団
の城。現国会議事堂。



▲ラエコヤ広場 中世以来の伝統的広場。
古くからの石畳が敷かれている。



◀リュヒケ・ヤルク通り
山の手と下町とを結ぶ
2本の坂の一つ。



▲旧市街の眺望



◀大聖堂
エストニア最古の
中心的教会。



▲ふとっちょのマルガリータ塔



▲ホテルから見たタリンの街並み 左手奥の旧市街と右手新市街の再開発の対照が鮮明である。

リガ(ラトビア)



▲アール・ヌーボーの建築
一町全部ヌーボー建築である。



▲ブラックヘッドのギルドとローランド像
ローランドは町の守護神。



▲リーガ城 今は大統領邸、博物館などに
使われている。

▲リーガ大聖堂と内部
左はミュンヘンで作ら
れたステンドグラス。



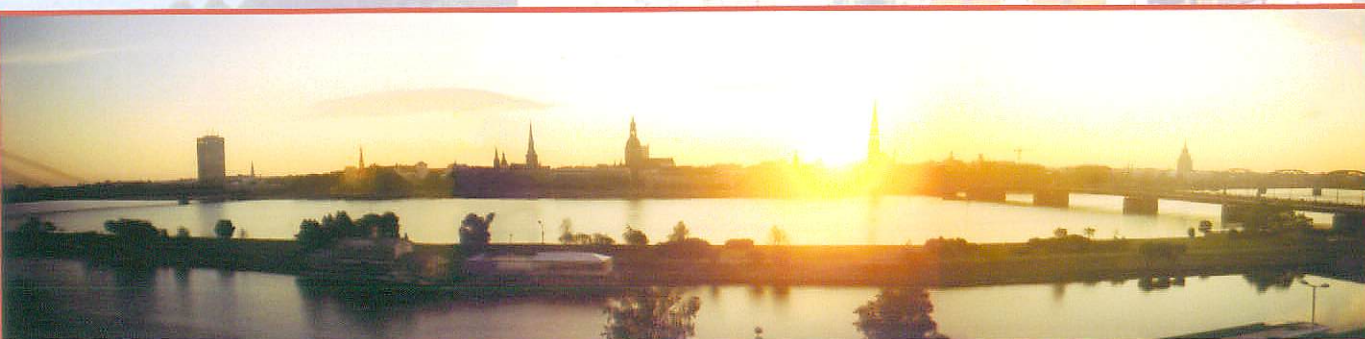
◀ホテルから見た
旧市街の夕暮れ
タウガヴァ川を挟んで
旧市街地が広がる。

▶中央市場
薄鉄型の大きな建物
群とその周辺に大規
模な市場が広がる。



◀猫の家
かつてギルドに加わ
れなかった商人が建
てた館。

◀聖ヨハネ教会
壁に塗り込められ
た二人の修道士で
有名。



ヴィリニウス・トラカイ(リトアニア)



トラカイ

▼歴史・民族博物館



←古銅銭。



←堀を渡る橋

↓博物館全景。



▲ゲディシナスの塔
丘上にある十字架三基
を組み合わせたモニュ
メント。



↑→丘から町の
全景が見られる。
ガイドは大学教
授のアルピナ
スさん。



▲大聖堂とカテドゥロス広場 名実共に
ヴィリニウスの中心地である。

◀▼聖アンナ教会(左)
とベルナルディン教会
共に16世紀後半の美麗
なゴシック建築。アンナ
はナポレオンが持ち帰り
たいといったことで有名。



▼夜明けの門 唯一残る城門。
上は教会になっている。

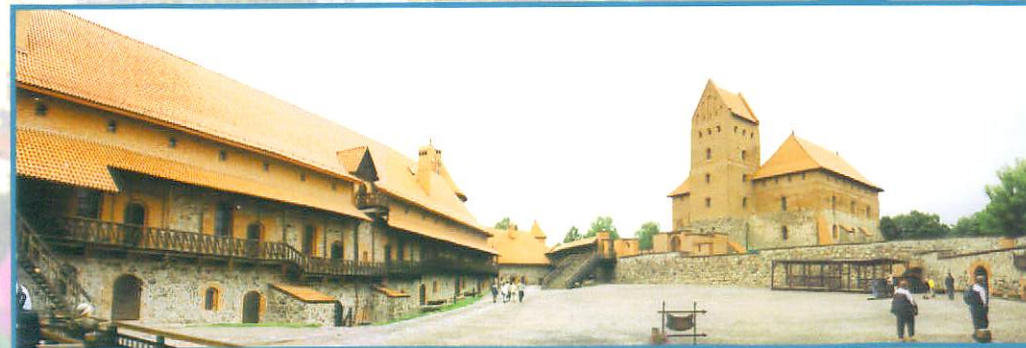


◀聖ペテロパウロ教会
内部の彫刻に圧倒される。

↓美しい聖女像。



▲馬に乗る人 教会前の道で。



カウナス・シャウレイ近郊(リトアニア)

(十字架の丘)

六千人の命のビザ
リトアニア領事館跡



◀▲杉原記念館と領事の椅子

元リトアニア領事館は、近年杉原記念館として保存されている。



↑杉原さんがビザ書きに使った領事の椅子。

▶聖ペテロ&パウロ大聖堂
内部の壁の彫刻が印象的。



▲カウナス城 元対ドイツ騎士団防御の城。
昔は堀にネムナス川の水が入っていた。



◀旧市庁舎

白鳥にたとえられる美しいバロック建築。
現在は結婚登記所になっている。



十字架の丘

◀ヴィリニウス通り
道の中央分離帯は露店
などが多く出ている。



◀▲ぎっしり詰まった十字架
一寸した丘の周辺は、ぎっしりと
十字架で埋め尽くされている。ロ
シアに壊されてもすぐに新たな十
字架で埋め尽くされたという。



▼十字架の丘遠景



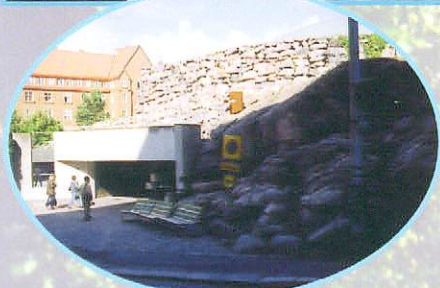
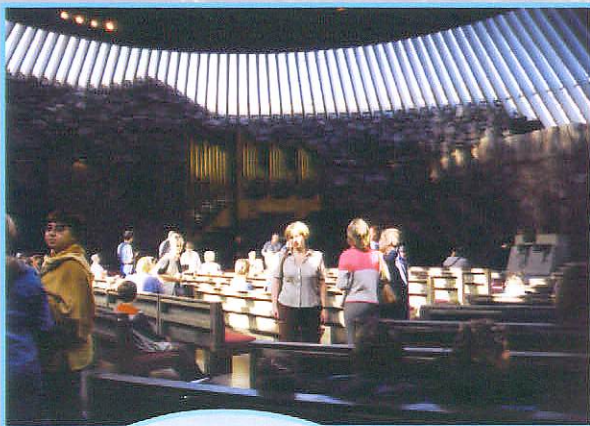
▲通り中央の露店
その露店で焼き物の
人形を買った。



▼郊外の風車と花のレストラン



ヘルシンキ (フィンランド)



▲テンペリアオキオ教会
岩をくり抜いてつくられている。音響がよく、歴々音楽会場に使われる。



▲大聖堂 ヘルシンキは水の豊かな都。大聖堂は中央駅のすぐ近くだが、背後には港が入り込んでいる。周辺には官庁などが並ぶ。

ヘルシンキは今回の旅行でメインではなかった。しかしターミナルになったことで、観光時間は比較的長かった。我々も2度目、うち着いて歩くことができた。



→北欧はどこもそうだが、改札口もなく、自由に出入りできる。

▶▼ヘルシンキ中央駅と構内



▶朝市
大規模な朝市、何でも売っている。以前来たとき狼の皮を買った。



▲大学横の公園 緑豊かな公園には若者たちが屯している。



▲市電 市電は縦横に走っている。東京と似た色のの電車。



→公園の一隅の木陰に水鳥が群れていた。



▶シベリウス公園
像はこの国の有名なマラソン選手。右手にはモニュメントやシベリウスの像もある。



エルミタージュ美術館

(サンクト・ペテルブルグ①)



▲正面の階段



▲運河側から見たエルミタージュ

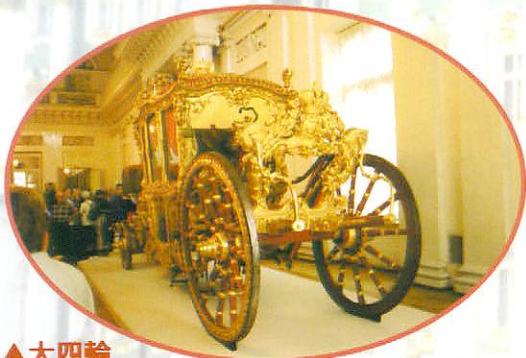
世界の三大美術館の一つといわれるエルミタージュ。朝から昼食を缺んで一日居たのだが、それでもほんの一部の感じ。この特色の一つは建物や部屋そのものも美術品である点。豪華絢爛で、入り口正面の階段からもそれが分かる。見たのも一部だが、陳列されていないものもまだわんさどあるという。取り敢えずそのまた一部を。



▲黄金の孔雀の時計



◀開館前の行列
早朝から多くの人
が列をなしていた。



▲大四輪
箱馬車 王の特別な祭儀用に使われた。



▶孔雀石の間

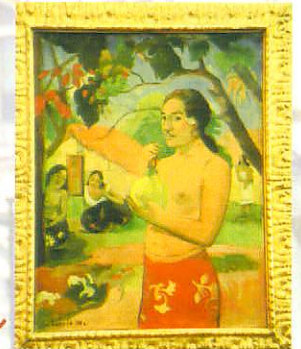
▼祖国戦争のギャラリー
多数軍人の肖像がある。



▲騎士の間の甲冑・馬具



▲レンブラント



▶ゴーギャン



▶廊下に並ぶ彫刻群



▲ロダン
青銅時代に似ている。



▲セザンヌ



▲マチス

エカテリーナ宮殿

(サンクト・ペテルブルグ②)

◀建物左端の塔
最も華やかな部分で
ある。ここは写真ス
ポットの一つ。



▲横一文字の建物 メインは2F、1Fは売店などになっていた。



▲▼琥珀の間
三百周年の今年に間に
合わせて修復された。



▲プーシキン像
庭園の一角に詩人プーシキンの
像があった。町の人の資金で生誕
百周年を記念したそうだ。

◀▼エカテリーナII世の衣装が
飾られた部屋と肖像画
ここにも金がふんだんに使われている。



▲▶目覚めと微睡み
それぞれ部屋を繋ぐ廊下
のスペースに置かれていた。



◀大広間とモデル
きらびやかな壁、天井
には立派な装飾画、
一緒に写真を撮る商売
のモデルさんも。



サント・ペテルブルグ③

(夏宮殿・血の上の教会etc)



← 四方からそれぞれ
多少違って見える雄
大な建物。緑が印象
的な外装である。

血の上の教会

▶ 絵の描かれた列柱
内部の方形で大きい柱
には多くの聖人などの
絵が描かれている。



▲内部の社型の建物
幾つか並んでいた。



▲夏宮殿正面の大噴水
左右対称に造られた庭園中心の大噴水は正面
の水路で海へと繋がる。

夏の宮殿

ピョートル大帝の離宮と
して建てられた噴水と庭
園の館。噴水から続く水
路は海に続き、かつては
船が入っていた。



▲宮殿全体の地図
水中翼船で運河の入り口で
下りるとこの地図がある。



イサク教会

▶ 巨大なドーム
煌びやかにして
重厚な造りである。



▲重厚な建物



▲ステンドグラス型の大キリスト画像



▲貴族の写真モデル
内外に多くいて、結構商売に
なっているようだ。



▲悪戯の噴水
中に入ると水が噴き出してくる。



▲庭園の花壇 至る所に花が溢れている。

サント・ペテルブルグ④

(散策アラカルト)

◀▼ペトロパブロフスク要塞
聖堂と内部

←高さ122.5mの尖塔を戴く。
↓華やかな天蓋。



▲宮殿広場 エルミターージュ2Fから撮す。



▲三百年記念
駅横の建物の上に、創立三百年を記念する
1703-2003の文字が見える。

←ピョートル大帝以下、皇族たちの
棺が安置されている。



◀喫茶店前の将校さん
妙にリアリティのある像で、
かみさんがはまっていた。



▲バレエの鑑賞 本場の芸術を堪能。

▲生演奏付きディナー
貴族の館で、生演奏付きのディナー。例によって
出張しているかみさん。



▲民族舞踏レストラン みんな踊りに参加して盛り上がった。

▼結婚式ラッシュ
短い活動の季節夏に合わせてあちこちで
結婚式が見られた。



↑ワシリー島口ストラ塔横で。

←エルミターージュ美術館脇で。

↓運河の船上で。



▲朝市 食物より土産物が多かった。だるま人形を買う。

バルトの子どもたち



▲いたずらっ子兄妹 (ヘルシンキ)



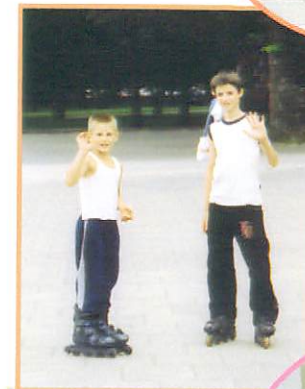
▲止まり木

◀ローラーブレード

▼ママ、こっち来て

(ヴィリニュス・リトアニア)

いずれも大聖堂広場の
周辺で遊んでいた子ら。



▶恥ずかしいよ!
お父ちゃんのお尻
に潜っちゃった。



▲遊具で遊ぶ子ら

(カウナス郊外・リトアニア)

郊外のレストラン横が遊園地
になっていた。みんな人懐っこ
く、写真を撮られるのを喜んで
いた。

(↑←↓いずれも夏の宮殿・サントペテルブルグ)



▲笛を吹く三姉妹
結構稼いで
いました。



▲悪戯の噴水 入ると水が噴き出す。

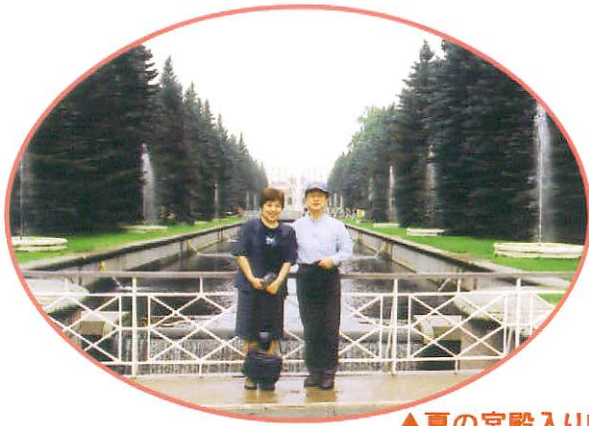


◀はにかみ
エルミタージュ美術
館に並んでいて出会
った女の子。



▲ガッタンガッタン (ヘルシンキ空港)

私たち



▲夏の宮殿入り口運河で
(サント・ペテルブルグ ロシア)



▲エルミタージュ美術館前で記念写真
(サント・ペテルブルグ ロシア)



▲ツアー最終夜の誕生日会
例によって誕生日祝い。ケーキを前に。



▲エカテリーナ宮殿前
(サント・ペテルブルグ ロシア)



▶美術館内
重厚な馬具と甲冑。



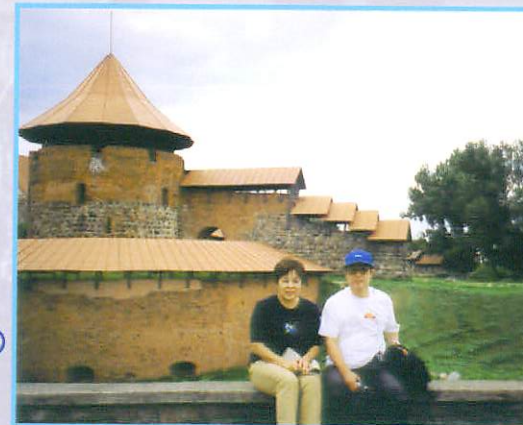
▲貴族の館の晩餐会(サントペテルブルグ ロシア)
アシスタントガイドのオリガさんと。阪大留学帰りの才媛。



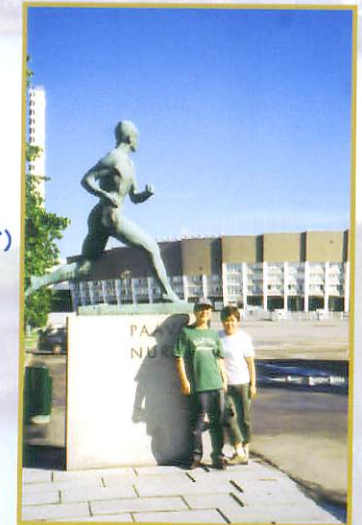
◀朝の散歩で逢った子ども
(タリン エスタニア)
公園をおばあちゃんと歩いていた。



▲水中翼船で
(サント・ペテルブルグ ロシア)
夏の宮殿へ行く水中翼船で前に
座った婦人に声をかけた。イタリ
アのミラノからの観光だそう。



▲リガ城をバックに(リガ ラトビア)



▲シベリウス公園前で
(ヘルシンキ フィンランド)
モニュメントやシベリウスの
顔などもあった。